



2 1

【写真1】 壁面のニッチ(飾り棚)や壁付け照明の光が効果的にデザインされた玄関ホール。右手の壁が曇りガラスになっており、圧迫感を緩和したり、人がいるかどうかの安全確認がしやすくなっています。【写真2】 規則的にレイアウトされた3連の明かり取り窓と、シェードカーテンを取り付けた大きな窓が印象的な玄関。少し小さな空間でも、外部の光を取り込むことで、閉鎖感はかなり緩和されます。高さの低い靴箱を選ぶことも、空間の広がりを感じさせる一因になっています。【写真3】 わざと照度を落とし、壁をスポットで照らす照明を規則的に配置した玄関。光と影の陰影で、上質な空間イメージをもたせることが可能です。絵や花といった小物も上手にレイアウトされており、整った空間となっています。【写真4】 明るい照明計画と、自然素材をふんだんに使った玄関ホール。床も石壁も色の濃いものを選んでおり、正面の壁と天井の白色とのコントラストがはっきりとした空間。日中と夜間でイメージの違いを感じることができ、脳にも良い影響を与えることができます。



4 3



Feng-Shui Gallery

special edition vol.27

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『玄関 vol.2』



【大写真】 大きな窓から十分な陽射しが降り注ぐ玄関。床と壁の仕上材の色も明るい色を選ぶことで、この空間の明るいイメージをより一層引き立てています。

玄関は家の顔であり、第一印象が決まる重要な空間 陽射しや照明などの「光」を上手につかうことが大切

玄関は、家に帰ってきてまず最初に通る空間であり、訪れる人にとってはその家の第一印象が決まる、とても重要な空間です。

また風水的に考えると、家は人間の体を表し、各居室は身体の一部に対応しており、玄関は氣を取り込む「口」にあたります。ですから、玄関が汚れていたり暗いイメージだったりすると、良い氣を取り込むことができず、

そこで、陽射しが多く注ぎ込むようになり、照明の光を効果的に配置した玄関のデザインが大切になります。陽射しが入る玄関であればよい良いですが、陽射しが入りにくくても、照明によって雰囲気の良い空間となっている玄関にも良い氣は集まります。

また、床や壁の仕上素材や観葉植物、絵や写真を飾ることによって、空間の質を高めることができます。

毎日必ず立ち入る空間ですから、常に綺麗で整った状態にすることで、そこを通る人々の脳に無意識のうちの良い情報がインプットされ、心身を健康な状態に整えてくれる効果が期待できます。

家に帰ってきたことや、その家に招かれたことが幸せと感ぜられる、そんなイメージを与える空間であることを心がけてください。